

第43回新日美展 上位受賞作品 講評

中尾賞

「穏やかな一時」

曾田耕吉

皮革を用いて造形的に構成された森林の遠くに山の見える作品です。丹念に刻印された木々に大小の表現と構成に工夫が見られます。木々の表現に刻印の大小と形体に工夫されると更によい作品が出来ると思います。次回の作品を期待します。

新人賞

「穴窯灰かぶり大壺」

吉原 要

大きな壺の釉薬が垂れ流れている大きな壺です。様々な釉薬の研究をされているのであろうか、何回もの釉薬を計画的にかぶせてできた素朴な調和のとれた色調が良い。一層の釉薬の研究と更なる作品制作を期待します。

絵画小品部門大賞 高田文雄

「晩夏の散歩道」

作者は、いつも散歩では道端に咲く花や植物を眺め、季節の移ろいを感じておられるのであろう。ある日、垣根越しに色鮮やかに熟したほうづきが強烈に目に留まりました。非常に印象的に捉えた製作意図が明確に表現さ

れています。ほうづきの周囲の枯れ草なども丁寧に描かれた良い作品です。繊細さと大胆さなどのバランスを工夫されると一層作品が引き立つでしょう。次回の作品を期待します。

※ 今年度は、絵画小品部門の作品に優れた作品(「旅の途中で」水鏡―「神社へ」・「夜明け」・「大雄山参道」・「memory」)が数多く見受けられました。



展示を終えて開催を待つひと時



芳賀文治先生

第四三回新日美展 受賞の喜び

参議院議長賞を受賞して

東京東支部 土屋 政夫

表彰式の席上、岸田劉生作「道路と土手と塀」と受賞作のテーマは一緒と言っていました。表現の違いを比較してこのままでは駄目だと感じたので、新たな作風に挑戦しますとも口にしてしまいました。

今、表現を変え自分を脱することの難しさを痛感しています。改めて己が表現したい深層部分から見直す作業をしています。テーマは「この文明の行く末」

なのですが、現代の混沌とした状況を頭の中で整理したいのです。近代を形作っているのは産業革命以降の大量生産によるコピー製品の席捲です。その辺を表現した一人がウオーホールで、マリリンモンローや缶詰や瓶のラベルをシルクスクリーンで羅列しています。

溢れ出る雑多な情報や物が醸し出す猥雑さの中に共通項を見出したいと願っています。出来ることならばそれをタブローに定着をしたいと思います。これを私の仕事にします。受賞に恥じぬ作品作りを目指します。

衆議院議長賞を受賞して

京都支部 小林志津子

私は、人がエネルギーを使って行動している姿に魅力を感じます。何かに夢中になり、真剣に取り組む姿は表情に富み、素晴らしいものです。

人ばかりではありません。建物や静物のように一見そこに静止しているものであっても、もの凄いエネルギーを感じることがあります。

つまり、有機物であれ、無機物的なものであっても動きを感じると描きたくなります。

この人物は、広島被災の折、ボランティアとして瓦礫除去に携わった青年です。自らの家も被災しましたが、勇気を出し活動に参加しました。

その表情、筋肉の動き、腕の泥など私なりにやや誇張も含めて描きました。特に顔の筋肉は描くたびに浮き上がってくるのがわかりました。

大きな賞をいただき、身にあらる光栄です。

ありがとうございました。